

公益社団法人私立大学情報教育協会  
平成 25 年度第 4 回 FD 情報技術講習会運営委員会議事概要

- I. 日 時：平成 26 年 1 月 31 日(金) 13:00 から 15:00 まで  
II. 場 所：公益社団法人私立大学情報教育協会、会議室  
III. 参加者：高橋担当理事、田宮委員長、竹内委員、今井委員、家本委員、山本アドバイザー  
右記は Skype で出席：金子委員、及川委員、朽尾委員、渡辺アドバイザー  
事務局：井端事務局長、森下主幹、野本（記）

IV. 検討事項

1. 各コースの内容の検討

委員から各コースの講習テキストなどをもとに説明がされ、以下の確認や意見交換がされた。指摘事項はテキストに反映するのとしている。

(1) タブレットを意識した電子書籍型教材作成コース

- ・ 全体の流れの概要としては、Prezi によるプレゼン教材作成、プレゼン教材に音声を与与、動画に変換、HTML での再生環境に整備、その後電子書籍の形に展開することになっている。自宅で学修可能な教材の作成を目指す。
- ・ ソフトのインストールについての記述は変更し、ソフトをダウンロードする際の注意は別紙で行うことにした。
- ・ 参加者には事前に教材作成は PC で行うことと WiFi 接続の設備は大学にはないことを案内することになっている。
- ・ Preziha 事前に登録手順を案内してが各自の ID 登録が必要。変換等にソフトはポータブル版を利用して USB 起動にする。

(2) LMS 活用コース

- ・ 発見的にいくような仕組みを考えていた。
- ・ グループ討議や実習としてテキストの記述欄や模造紙を利用。LMS では教材の準備などを学ぶ。タブレットでクリッカー機能などの体験を行う。
- ・ アクティブ・ラーニングとして事前事後学修の記述が不足。メリットデメリット、事例など、考えさせるものを提示してはどうか。

(3) 授業マネジメントコース

- ・ 1 日目の開始部分では、問題発見解決授業や協働学修について、テクニカルではなく、答えのないこと、アクティブ・ラーニングの事例として紹介してはどうか、先生に考えてもらうことが大切ではないかの意見があった。そして、講義部分は LMS とマネジメントは一緒に実施を検討することにした。
- ・ アクティブ・ラーニングに決まったものではなく、学生に意識の変換を求めるもの。学生の主体性を引き出すことをねらいにしている。今回は基調講演の内容をコースに反映すること、テクニック論でなく教員・学生の意識を変えることがねらい。

V. 今後のスケジュール

- ・ 次回は 2 月 13 日 19 時から開催を予定し、各コースの内容を再検討したテキストをもとにして検討することにした。